

# 令和3年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 宇多津町

(都道府県:香川県)

## 1. 当該地域の情報 (令和3年7月現在)

地域の課題	近年、宇多津町では、外国人住民が増加傾向にあり、県内市町の中でも高い比率で推移している。加えて、多くの企業で外国人技能実習生の受け入れを通じて外国人材を活用しており、人手不足の背景もあり、今後も増加することが予想される。昨年以降、コロナ禍の影響で一時的に減少したが、今春より徐々に回復している。また、生活環境に関わる重要事項(ゴミ・し尿処理、防災対策等)や、子育て・教育に関する多言語対応で、『やさしい日本語』の普及が急がれる中、コロナに関する対応も加わる等、自治体として取り組むべき課題は山積している。これらのことから、地域の生活者としての外国人住民を支援する環境整備の迅速な対応が望まれている。 そのような中、昨年度より本事業の採択を受け、ようやく日本語教室開設準備が整いつつあり、日本語教育推進における住民サービスを強化し、各課題解決の糸口としたい。
在住外国人数 外国人比率	総人口:18,447人 在住外国人数:504人 外国人比率:2.7%
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】※上位10件 ベトナム159人、フィリピン100人、中国71人、インドネシア55人、ミャンマー48人、韓国20人、ブラジル8人、カンボジア6人、ペルー6人、 インド5人  【在留資格】※上位10件 技能実習2号口95人、永住者81人、技能実習1号口63人、技能実習3号口40人、特定活動38人、技術・人文知識・国際業務28人、日本人配偶者等25人、定住者24人、留学22人、特別永住者16人
在住外国人の 日本語教育の現状	①技能実習生 所属している組合や会社での日本語研修、または、県国際交流協会や隣市(坂出、丸亀)が行う日本語教室に通学。2021年2月から週1で実態調査のために設置している自習室や、国際交流会主催の日本語サロンを利用する実習生が徐々に増加 ②特別永住者・永住者 家族や親戚等を頼るか、県や隣市(坂出、丸亀)が行う日本語教室に通学している。大半は特に何も学習していない人が多い。 ③留学生(町内にある香川短期大学学生) 日本語取得済で留学しているが、それ以上のレベル習得を希望する場合は、県国際交流協会や隣市(坂出、丸亀)が行う日本語教室に通学。昨年度より日本語教育専門教員が就業しており、日本語教育強化への動きが見える。 ④町内の学校等の施設に通う外国人子女 町教育委員会が小中学校の外国人児童・生徒への学習支援として母国語・日本語指導員を派遣している。令和2年度の対象児童・生徒数は10名(国籍:フィリピン、中国 ベトナム等)で指導員6名を派遣

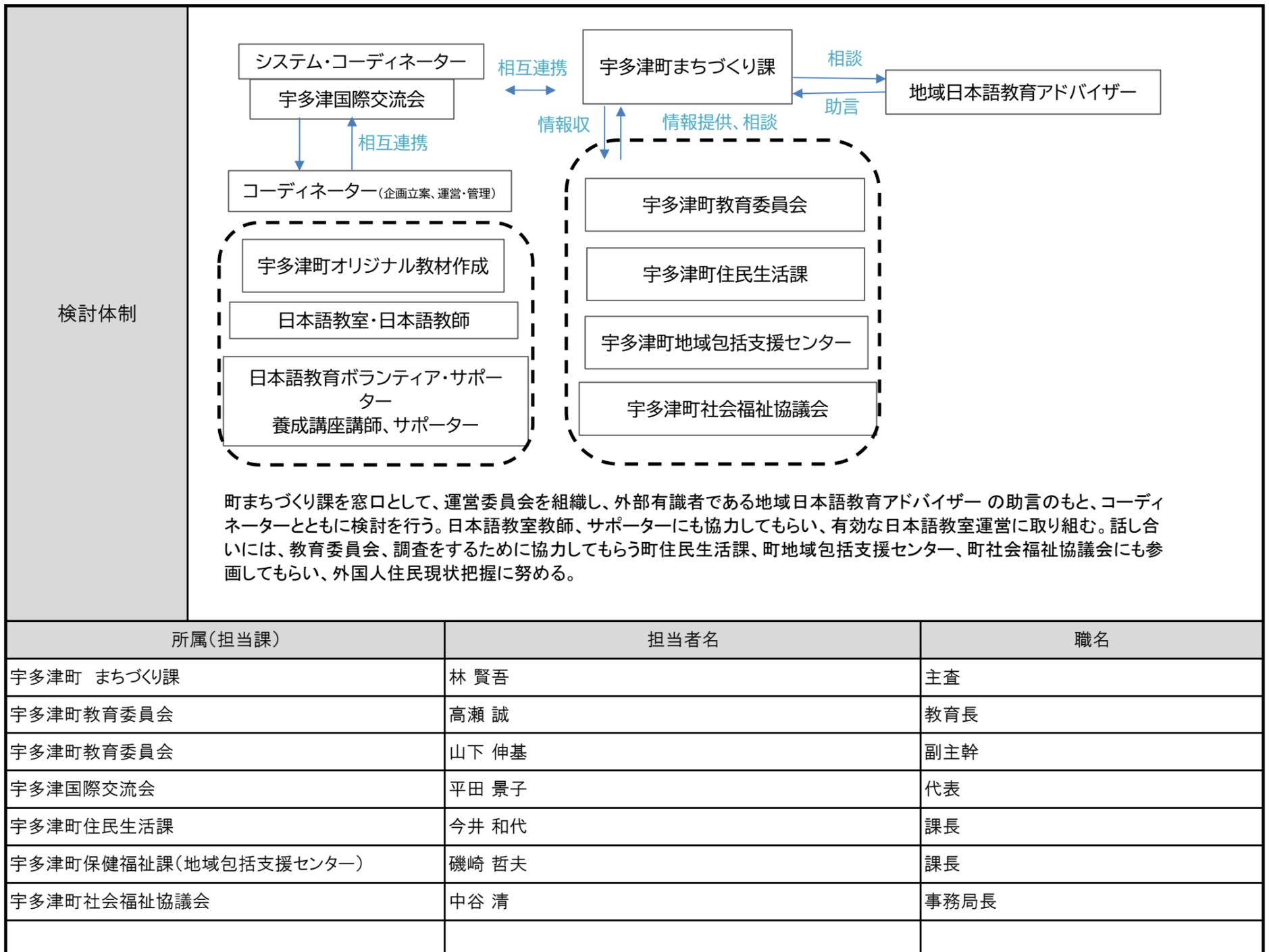
## 2. 事業の内容

本プログラム取組年数	2年目
事業の目的	既に多文化共生社会へ突入しているため、生活相談や教育に関する相談件数も増えており、多文化共生に対する当町職員の更なる意識向上と人材育成、地域住民に啓発していく必要性に迫られている中、次の目的を軸に本事業を活用し、国籍を超えての住民サービスの提供と向上、災害発生時などに備える防災対策の強化、日本語教育環境整備と拠点づくりを実現し、まちの活力や革新、創造、成長の源泉とすることを目的とする。  ①外国人住民にとって居場所・活動の場となる住民参加型の地域日本語教室の創設、運営向上・強化 ②やさしい日本語の普及と異文化理解の推進 ③実態調査を強化し、顔の見える関係を構築
事業の概要	①日本語教室設置(7月～12月・全15回) ②アドバイザー・コーディネーター会議(全2回/ 11月、2月) ③検討体制会議(毎月) ④日本語教師会(7月～12月、毎月末) ⑤教室サポーター勉強会(年5回 / 8～12月予定) ⑥町・教職員聞き取り・相談(多文化共生に向けた取り組み、窓口対応など) ⑦地域住民対象の多文化共生セミナー(町民の意識啓発、在住外国人との交流に繋げる) ⑧外国にルーツを持つ子供たちへの学習支援(町教委との連携) ⑨協力・連携・関係団体とのネットワーク形成、協議 ⑩先進地視察(岡山県総社市) ⑪外国人住民のニーズ把握・分析、実態調査、ネットワーク形成
事業の対象期間	令和3年4月～令和4年3月
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	①キックオフ会議 ②アドバイザー・コーディネーター会議 ③町職員対象多文化共生・日本語教育研修 ④日本語教育ボランティア・サポーター養成講座 ⑤外国人住民実態調査 ⑥外国人住民対象防災訓練、多言語対応人材養成研修

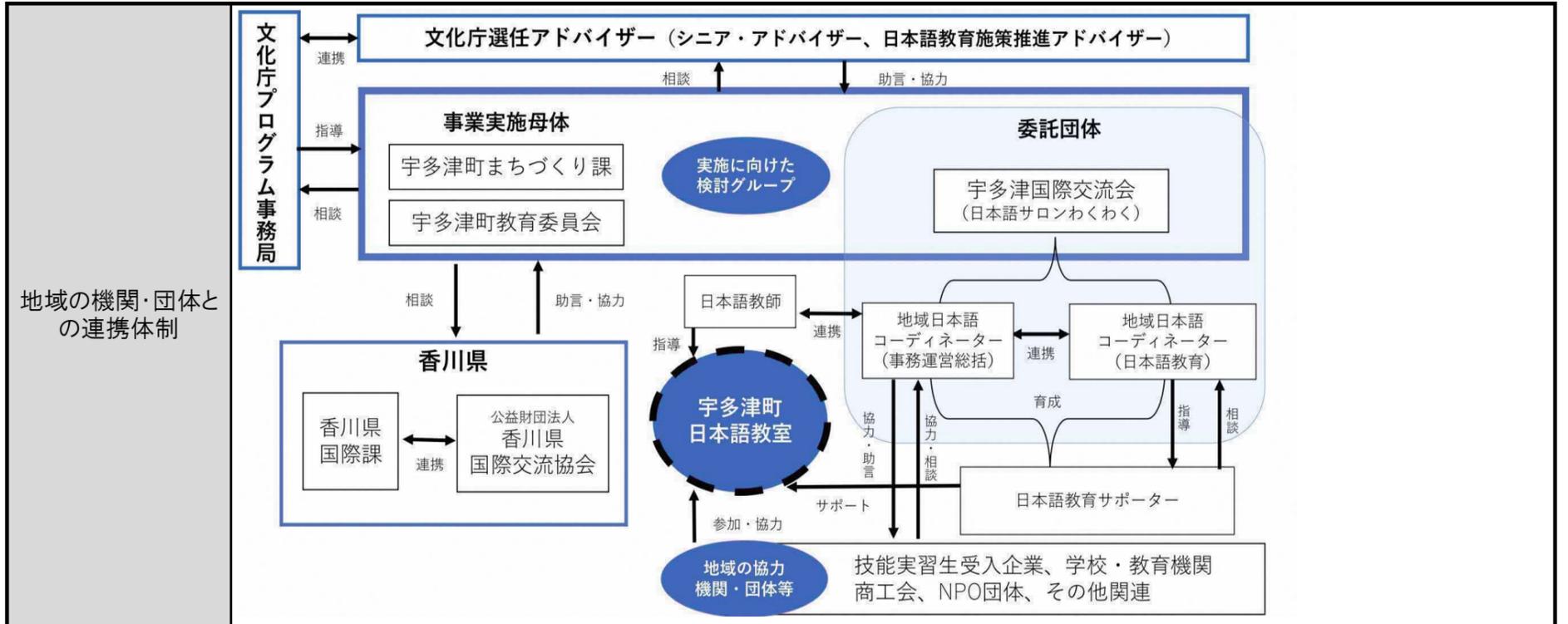
	氏名	所属	職名	担当する役割
担当コーディネーター	山下 直子	香川大学教育学部	教授	日本語教育・教室開設企画立案、運営管理 サポーター養成講座・研修企画立案、指導
	毛 勇	香川短期大学経営情報科	教授	在住外国人向け生活ガイド日本語研修、指導 町職員多文化共生研修、指導
	平田 景子	宇多津国際交流会 香川県教育委員会	代表 日本語教育支援員	全体調整、教室に関わる各種企画立案 教育環境整備、事業運営
	山地 優子	宇多津町教育委員会 香川県教育委員会	日本語教育支援員	在住・在勤・在学外国人実態調査 日本語教育ニーズ調査
	氏名	所属	職名	継続・新規の別
担当アドバイザー	山田 泉		元法政大学教授	継続・新規(2年目)
	中東 靖恵	岡山大学大学院 社会文化科学研究科	准教授	継続・新規(2年目)
	財部 仁子	神戸YMCA学院専門学校 日本語学科	専任講師	継続・新規(2年目)

### 3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

#### (1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2)日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
宇多津国際交流会		代表	平田 景子
日本語サロンわくわく		サポーター代表	金岡 房子
技能実習生を受け入れている町内企業			宇多津商工会、株式会社ラモナー 他
香川大学	地域・産官学連携戦略室	客員教授、地域産官学連携コーディネーター	中井 今日子(FM香川アナウンサー)
香川短期大学	地域交流センター	センター長	齋藤 栄嗣(香川短期大学 副学長、教授)
香川県	総務部知事公室国際課	課長補佐	橋本 恵子
公益財団法人香川県国際交流協会		専務理事兼事務局長	鈴木 里枝
日本語教室 教師会(指導者)		教師(指導者)代表	神原 周(香川短期大学 経営情報科 准教授)

#### 4. 具体的な取組内容

##### (1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和3年 4月	①事業計画素案作成	①事業計画素案作成の協力	
令和3年 5月	①事業計画書素案作成 ②教室開設についての準備、打ち合わせ	①事業計画素案作成の協力 ②教室開設についての準備、打ち合わせ参加	
令和3年 6月	①文化庁オリエンテーション(オンライン) ②教室開設に向けての準備全般 ③事業計画案の最終チェック	①出席 ②教室開設についての準備、打ち合わせ参加 ③事業計画案作成の協力	
令和3年 7月	①検討体制チーム会議 ②教室開設準備、実施・運営 ③コーディネーター、日本語指導者委嘱式 ④コーディネーター会議 ⑤日本語指導者研修会議(オンライン) ⑥アドバイザー・コーディネーター会議(オンライン) ⑦宇多津町日本語教室実施	①準備・調整・実施協力 ②教室開設についての準備、打ち合わせ参加 ③出席 ④準備・調整・実施協力 ⑤準備・調整・実施協力 ⑥準備・調整・実施協力 ⑦教室準備・運営対応	⑥オンライン出席
令和3年 8月	①防災講座にて宇多津町日本語教室の取り組み紹介 ②宇多津町日本語教室実施 ③検討体制チーム会議	①取組内容について紹介 ②教室準備・運営対応 ③準備・調整・実施協力	

令和3年 9月	①宇多津町日本語教室実施(コロナ感染拡大のため、オンライン) ②検討体制チーム会議	①オンライン開催準備・運営対応 ②準備・調整・実施協力	
令和3年 10月	①宇多津町日本語教室実施 ②検討体制チーム会議	①教室準備・運営対応 ②準備・調整・実施協力	
令和3年 11月	①宇多津町日本語教室実施 ②アドバイザー・コーディネーター会議 ③コーディネーター会議 ④検討体制チーム会議	①教室準備・運営対応 ②準備・調整・実施協力 ③準備・調整・実施協力 ④準備・調整・実施協力	①教室視察 ②会議出席
令和3年 12月	①検討体制チーム会議 ②宇多津町日本語教室実施 ③コーディネーター会議 ④ボランティア・サポーター研修会	①準備・調整・実施協力 ②教室準備・運営対応 ③準備・調整・実施協力 ④準備・調整・実施協力	②教室視察 ④ボランティア・サポーター研修視察
令和4年 1月	①検討体制チーム会議 ②事業報告会(オンライン)	①準備・調整・実施協力 ②準備・調整・実施協力	②オンライン出席
令和4年 2月	①検討体制チーム会議 ②令和3年度事業報告書作成 ③アドバイザー・コーディネーター会議(オンライン) ④ボランティア・サポーター研修会(オンライン)	①準備・調整・実施協力 ②作成協力 ③準備・調整・実施協力 ④準備・調整・実施協力	③オンライン出席
令和4年 3月	①令和3年度事業報告書提出		

## (2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	宇多津町日本語教室						
外国人参加者について	[国籍]ベトナム・フィリピン・インドネシア・ネパール・ペルー・中国 [属性]技能実習生や生活者が主な対象	参加者数 (内 外国人数)	受講者 延103名 (内 外国人数 103名)				
開催時間数	総時間 146時間	内訳 2時間 × 73回					
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語を使って、生活上での様々な行為や意思疎通ができるようにすること。</li> <li>日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること。</li> <li>日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること。</li> <li>日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること。</li> <li>日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること。</li> </ul>						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2021年7月9日(金) 10:00~12:00	2	宇多津町保健センター	2	講義	・防災アプリ(yahoo防災・PLEP)・乗り換えアプリ(NAVITIME・乗り換え案内)を入れる ・日本語教室フォトコンテストプロジェクト ・てるてる坊主作り	日本語指導者1名 サポーター1名
2	2021年7月31日(土) 10:00~12:00	2	宇多津町保健センター	3	講義	・学習者と教師が自己紹介を行った。 ・日本語の言葉を作るカードゲーム『もじびったん』を行った。	日本語指導者1名 サポーター1名
3	2021年8月7日(土) 10:00~12:00	2	宇多津町保健センター	3	講義	・自己紹介のための日本語カードゲーム『もじびったん』を行った。 ・後半は日本語の「オノマトペ」についての講義を行い、「オノマトペ」を用いたゲームを行った。	日本語指導者1名 サポーター1名
4	2021年10月15日(金) 19:00~21:00	2	宇多津町保健センター	4	講義	・成人式とは ・カレンダープロジェクトについて ・NHKNewsWebEasyより「リアモーターカー」の記事を読む。	日本語指導者1名 サポーター1名
5	2021年10月22日(金) 19:00~21:00	2	宇多津町保健センター	3	講義	・雨のオノマトペ ・NHKNewsWebEasyより「阿蘇山の噴火」の記事を読む	日本語指導者1名 サポーター1名

6	2021年11月5日(金) 19:00~21:00	2	宇多津町 保健セン ター	5	講義	・ピンポンバンゲームで名前を覚える ・誕生日順に並ぶ ・共通点探し	日本語指導者1名 サポーター1名
7	2021年11月6日(土) 10:00~12:00	2	宇多津町 保健セン ター	6	校外学習	青の山の頂上まで山登りを行った。 各自国の料理を持ち寄り、紹介をした。活動を通して、クラスを越えた教師・生徒・スタッフ間の親交を深め、お互いの文化を知る良いきっかけとなった。	日本語指導者3名 サポーター1名
8	2021年11月19日(金) 19:00~21:00	2	宇多津町 保健セン ター	3	講義	・月食を見る ・昔話(ももたろう・うらしまたろう)	日本語指導者1名 サポーター1名
9	2021年11月20日(土) 10:00~12:00	2	宇多津町 保健セン ター	3	講義	・自己紹介と有名なものの紹介 ・ひらがな 50音チェック ・ひらがな 濁音、半濁音チェック ・さ行、た行の平仮名の書き練習	日本語指導者1名 サポーター1名
10	2021年11月27日(土) 10:00~12:00	2	宇多津町 保健セン ター	3	講義	・自己紹介、出身地、来日年数、居住、仕事、結婚、子供についてのQA ・住所の読み方 ・日本とフィリピンの比較 ・ひらがな 拗音、単語5個 ・な、は、ま行の書き方(多々羅) ・つながる・ひろがる日本語のレベルチェック→レベル2	日本語指導者1名 サポーター1名

※上記は、全73回開催した日本語教室(各2時間)のうち代表的な10回分を記載しております。

### 【主な活動】



自己紹介のための日本語カードゲーム『もじぴったん』を行っている様子(2)。



土曜クラス1、2、ベトナムクラス1合同にて、青の山への登山を行い、頂上にて撮影(7)



金曜クラスの授業風景(1)

教室の立ち上げに係る問題とその対応策	教室が外国人住民に十分に認知されていない状況があり、また、地域住民への理解促進が不十分であると取組みに対する協力が得られにくいことから、町の媒体やメディア、SNS等を活用して、広報・情報伝達等の活動を行う。
--------------------	---

### (3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
ボランティア・サポーター研修会	令和3年12月11・18日 (全2回)	日本語教室での活動を前提とし、教室の準備や授業、イベント等運営のサポートが出来る方の養成を目的とした研修を実施した。 【内容】(全2回、1回1時間30分) 第1回 ・令和3年度文化庁における日本語教育の取り組み(コーディネーター 平田景子) ・宇多津町における本事業の振り返り(コーディネーター平田景子) ・文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」使用説明(コーディネーター 平田景子) ・公益財団法人香川県国際交流協会の取り組み(同協会専務理事 鈴木里枝) ・情報・意見交換会(コーディネーター 山下直子) 第2回 ・令和3年度文化庁における日本語教育の取り組み(コーディネーター 平田景子) ・宇多津町における本事業の振り返り(コーディネーター平田景子) ・文化庁「つながるひろがるにほんごでの暮らし」使用説明(コーディネーター 平田景子) ・宇多津町内の外国人児童・生徒について(コーディネーター 平田景子) ・サポーターとしての活動、役割等を中心にアドバイスと意見交換(アドバイザー 中東靖恵)
コーディネーター&アドバイザー会議	令和3年11月21日 令和4年2月17日 (全2回)	今年度事業に関する課題共有と来年度事業に関する事前相談
関係者事業報告会	令和4年1月22日	令和3年度事業報告会を開催(一部オンライン)。出席者は、町長及び関係部課長、教育委員会、県国際課、県国際交流協会、アドバイザー、コーディネーター等、17名が出席。今年度の報告及び今後の取組について協議した。

【主な活動】



(12/11ボランティア・サポーター研修会)「宇多津町における本事業の振り返り」について説明している様子



(12/18ボランティア・サポーター研修会)中東靖恵アドバイザーによるワークショップ



(12/18ボランティア・サポーター研修会)グループに分かれて、日本語教育支援についての意見交換

5. 今年度事業全体について

進捗状況	新型コロナウイルスの影響により、本プログラム申請時の計画とは一部変更し、多少の不便はあったが、概ね計画に沿って進めることができた。
事業推進にあたり問題点と対応策	問題点: コロナの影響で一時的に施設を使用できない期間があり、対面での教室開催ができなかった。 対応策: SNSを活用し、情報発信、共有、相談に応じる等行い、コミュニケーションが途絶えないようにした。一部のクラスは、オンラインにて授業を実施した。
成果	7/9(金)より日本語教室を立ち上げ、参加人数も徐々に増えてきている。 参加者の国籍は、ベトナム・フィリピン・インドネシア・ネパール・ペルー・中国となっており、少しずつではあるが日本語教室が日本人を含めた交流の場所になってきている。
地域の関係者との連携による効果	企業・教育機関との連携やボランティア・サポーター研修会を通して、日本語教育や多文化共生に関心がある協力者や人材を発掘することができた。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(9.5H) ②体制整備のための調整(62.5H) ③人材育成のための調整(29.5H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(41H) ⑤教材作成に向けた調整(12H) ⑥その他(22.75H) (具体的な内容: 防災講座にて日本語教室の取り組み紹介等)
アドバイザーの主な助言	・ニーズ調査等で地域住民、外国人住民の現状や意見を聞き、宇多津町らしいモデル構築を目指す ・本事業終了後の自走をシミュレーションしながら、事業を実施すること
今後の課題	・日本語教室のPR(広報活動の工夫と強化) ・(新型コロナウイルス感染対策)オンラインを活用した教室運営、対面授業実施時の感染対策 ・補助期間終了後の運営体制検討
今後の予定	・「地域でつながる日本語教室」を目標とする日本語教室の試行強化。(対面、オンライン共にスムーズな運営を図る) ・自走体制構築のための対策(町長・関係所管の協議) ・過去2年間の実施状況報告及び3年目の現状報告・紹介を地域住民を対象に行う。(シンポジウム等) ・宇多津町のSDGs目標の一環として、地域日本語教育を通じた多文化共生のまちづくり構想「宇多津モデル」の構築する。(外国人と地域住民の交流を通して、日本語教育を地域全体でサポートするシステム構築とネットワーク作り)

本件担当 : 宇多津町まちづくり課 林 賢吾